



1 港南ひまわりプラン(港南区地域福祉保健計画)とは

01 港南ひまわりプラン(港南区地域福祉保健計画)って?

誰もが住み慣れた地域で安心して健やかに生活できるよう、一人ひとりが意識し、お互いに支えあえる関係の充実を目指し、区民の皆さん・活動団体・行政等が協力して、地域をみんなでより良くしていくための計画です。

このため、福祉・保健に関する活動だけではなく、防災・防犯・まちの美化活動や地域のお祭り・イベントなど、日常的な地域活動すべてをこのプランの対象としています。

そして、このプランは、地域のつながりや支えあいの充実に向けた取組内容を示し、皆さん一人ひとりが自分のこととして考え、できることから始め、地域をより良くするためのいわば「道しるべ」として位置づけています。

- 社会福祉法(第107条)によって、市町村地域福祉計画を策定することとされています。横浜市では、市全体の「横浜市地域福祉保健計画」と18区ごとの「区地域福祉保健計画」を策定しています。
- 港南区では、平成18年度の第1期から、地域の団体などの代表で構成される「港南区地域福祉保健推進協議会」で幅広く意見をいただき検討を行い、地域の皆さんと一緒に計画をつくり実行しています。
- 第2期からは、港南区社会福祉協議会が、地域の皆さん・各種団体と一緒につくる地域福祉の推進のための「地域福祉活動計画」と一体的に策定・推進しています。
- 第3期を策定する際には、港南区の計画をより身近なものと感じていただくため、計画の愛称を募集し、港南区地域福祉保健推進協議会で「港南ひまわりプラン」に決定しました。第4期も引き続き、この愛称を使用していきます。

地域福祉保健計画の概念図

横浜市地域福祉保健計画・・・市としての基本理念や方向性を示す、区の実施の支援策等

港南ひまわりプラン (港南区地域福祉保健計画)

区計画

区全体の課題を踏まえた取組を示す

地区別計画

地区ごとの特性や課題を踏まえた取組を示す



02 なぜ、港南ひまわりプランが必要なの？

「地域のつながり」や「支えあい」を深め、一人ひとりが身近な地域で安心して健やかに暮らしていくためには、区民の皆さん・活動団体・行政等が協働でより良い地域づくりを進めていくことが求められます。

そのため、それぞれができることを考える機会をつくり、そして、取組を行っていくためにプランは重要な役割を担っています。

背景

- 高齢化の進行やライフスタイルの多様化などで、近所のつながりや助け合いの関係が薄れていると言われています。
- 社会の変化に対応すべく、公的サービスや民間サービスも多様化し、充実してきていますが、これらと合わせて、人と人との関係や地域の皆さんの助け合いで、社会を支えていく必要もあります。
- 感染症の拡大や昨今の自然環境の変化などにより、人との交流や集うことが難しくなったとしても、これまでの支えあいやつながりの大切さを再確認し、個人・団体それぞれで「今、何ができるのか」を考えて、行動していくことが求められます。

03 どのように、港南ひまわりプランの内容を進めていくの？

区民の皆さん・活動団体・行政等が、プランの目標に向かって、それぞれの立場でできることを連携・協力して進めていきます。

